変更案

資料 4-3

市民協働・共創促進事業評価基準　■ヒアリングシート

事業名【 子どもの社会貢献活動体験プロジェクト 】審査員【　　】

	評価項目	評価の視点	ヒアリング内容・所感
追加 事業の公益性	公益性・成果	特定の人の利益ではなく、不特定多数の市民の利益又は社会全体の利益に寄与する事業であったか。 事業を協働・共創することにより、具体的な成果が得られたか。	**事業の成果についての評価を行う** ※課題解決（事業目的等の設定）に関する評価は削除 **記入例：**体験活動後のアンケート調査で「地域活動への関心が高まった」と回答した子どもが８０％以上に達していて、地域住民と子どもたちの相互理解が深まったことが確認できた。活動参加者の多くが地域の役に立てたと感じたと回答しており、自己肯定感の向上が確認できた。 子どもが主体的に企画・実施する点が評価できる。
	協働における斬新性	新たな社会課題とその解決のために、協働における新しい視点と解決方法における新しい方法が見つけられたか。	削除検討
協働の視点について	目的共有の原則（協働の理解）	地域課題の解決や社会的な目的の実現に向け、公益的な価値を相乗的に生み出すために協働することを共有できているか。 （どのような課題を双方が感じ、事業が開始されたか、どのような経緯で、協働で取り組む事になったのかの認識があるか。）	**協働の視点からの評価を行う** **記入例：**事業を通じて、市、学校、地域団体、企業の役割が明確化され、各主体が目的を共有して一体となって取り組んでいた。 定期的に打ち合わせを行うと共に、子ども達の意見をまとめ、企画内容を再考するなど地域課題の解決のためにその都度工夫したと見て取れた。 プロジェクト終了後も、民間の助成金の獲得や事業内容の一部を有料化し、体験型有料プログラムを実施する予定など市民活動団体が本事業を自主的に継続する意思があり、自立化に向けた努力は評価できる。
	目的共有の原則（事業の進め方の共有）	事業の進め方や課題について共有し、解決方法など、情報共有をしながら、共通認識をもって取り組めているか。	
	対等の原則（役割分担）	役割分担はどうか。（役割分担の変遷などはあるか。片方に過度な負担がないか。）	
	相互理解の原則	対話を通じ、十分なコミュニケーションを図り、信頼関係を築いているか。	
	自主性尊重・自立化の原則	お互いを尊重しの特性や強みを生かし合うことができたか。	
追加	情報公開の原則	透明性を高め、信頼関係を築くため、事業に関する情報を積極的に公開していたか。	
追加 評価結果		追加 （評価結果に関する総論と今後の期待） ※様々な主体間との連携については削除	**評価総論と、今後の期待に関して記述する** **記入例：**子ども達の意見を広い、社会貢献活動イベントを実装できたことは良い。また、市と団体がお互いの役割分担を明確にし、事業進行できていた。今後も、他の市民活動団体等と協力しながら継続的に事業実施することを期待する。

【評価結果】 S･･･非常に優れている　A･･･優れている　B･･･劣る　C･･･非常に劣る

点数評価を廃止
S～C の評価のみ行う